

兵庫県高校放送フェスティバル（第1地区 阪神・丹有）実施要項 R4.3.10改訂版

・主催 兵庫県高等学校教育研究会視聴覚部会

・日時 2022(令和4)年 3月20日(日) 9:00～13:00

3月7日(月)現在、兵庫県のまん延防止措置等重点措置が延長されていることと第1地区の地域性を考慮し、昼食を摂らずに終了します。 **会場が変更となりました**

・場所 兵庫県立西宮今津高等学校 〒663-8154 兵庫県西宮市浜甲子園4-1-5

阪神本線「甲子園」より徒歩20分、阪急今津線「今津」より徒歩25分

阪神バス 阪神甲子園、JR甲子園口より浜甲子園線⇒「南甲子園小学校前」下車3分

☆校内には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

近隣のコインパーキングは、選抜高校野球期間中のため大変な金額です。

駐輪場は利用できますが、自転車のみの利用とします。

＜最初に＞

まん延防止措置等重点措置の延長に伴い、使うことの出来る会場に変更が出たため、受付方法を変更します。広い教室を持つ学校を利用することが出来ないため、このような形となりました。ご協力をお願いいたします。

- ・参加人数の多い学校は、可能であれば、朗読部門・アナウンス部門でわかれて時間差をつけ来校ください。(その場合、朗読部門の人は朗読部門終了後に帰宅し、アナウンス部門の人は受付②の時間帯に受付をしてください。)
- ・消毒等の関係で、上履きの準備は出来ません。顧問の先生、生徒ともに、上履きをご準備ください。
- ・住宅地の中の学校です。周辺道路で、おしゃべりをしながらの通行、並列での通行等もお控えください。(休みの日です。苦情が来ます)
- ・発声練習は指定された場所のみ可能です。(発声場所での練習は出来ません。それぞれの待機教室で練習してください)
- ・受付はアナウンスと朗読をわけておこないます。(場所が異なります)
- ・各学校、朗読部門のみ、アナウンス部門のみ、それぞれの参加者名簿を作成してください。
- ・各部門の参加者名簿と、参加する生徒の検温記録を、学校ごとでまとめておいてください。
- ・顧問の先生は、顧問打ち合わせの際、本部にてご自分の検温記録を提出してください。
- ・朗読部門、アナウンス部門のそれぞれの受付で、出席確認と検温記録・参加者名簿提出を行います。
- ・エントリー番号によって、待機教室が異なります。それぞれ指示された教室で待機してください。
- ・自分の発表前、7～8人前には、荷物を持って、発表会場前に移動してください。(待機用の椅子と荷物置き場があります)貴重品の管理にはご注意ください。
- ・発表が終わった生徒は、順路に従い、戻ってください。
- ・待機教室には、発表会場の様子が中継されます。
- ・校内では飲み物を飲むことは出来ませんが、食べ物を食べることは出来ません。ゴミは持ち帰ってください。(自動販売機の利用は禁止します)
- ・常にマスクを着用して、可能な限りこまめに消毒をしてください。
- ・ミニコンテスト終了後に、全体会(講習会・表彰式)はありません。そのため、生徒のみなさんは各校の判断で帰宅してください。審査結果と講評用紙は各校に郵送します。

＜時程＞

ご注意ください・・・ミニコンテストを「朗読」⇒「アナウンス」に入れ替えました。

9:00～ 9:20 受付① 朗読部門の受付 (出席確認と検温記録・参加者名簿提出、原稿提出は不要)

*9時10分から顧問打合せ(本部)

9:30～11:10 ミニコンテスト①(朗読)

11:00～11:20 受付② アナウンス部門の受付 (提出物は①と同じ、原稿提出は不要)

*11時10分から顧問打合せ(本部)

11:30～12:40 ミニコンテスト②(アナウンス)

＜ミニコンテストについて＞

○ミニコンテストの順番が「朗読」⇒「アナウンス」に変わっていますのでご注意ください。

○エントリーは1名1部門のみです。各部門(アナ・朗読)とも最大10名まで出場可。

○アナウンス部門は、番号に続いて自校ニュースを読む、1分以内(NHK杯とは違います)。

○朗読部門は、番号・作者名・作品名に続いて本文を読む、1分以内(NHK杯とは違います)。

令和4年度朗読課題(県総合文化祭課題と同じ)の中から1つ選ぶ。電子書籍不可。

- | | |
|---------------|-------------------|
| ①『ノラヤ』 | 内田 百閒 著(中公文庫) |
| ②『あゝのころ』 | さくらももこ 著(集英社文庫) |
| ③『よこまち余話』 | 木内 昇 著(中公文庫) |
| ④『グレート・ギャツビー』 | フィッツジェラルド 著(新潮文庫) |
| ⑤『枕草子』 | 清少納言 |

○計時は第一声から行い、1分のベルが鳴ったら直ちにやめる。時間以外のルールは設けません。

＜全体研修会について＞ 日程をお知らせして後日配信で実施します。

演 題:「放送部の活動を通じて」

講 師: 成松海悠さん(声のプロダクション 株式会社キャラ所属)

講師略歴: 熊本第一高校、大阪芸術大学短期大学部出身

高校時代は2年連続でNコン全国大会の決勝に出場

(2017年64回Nコン朗読部門優勝、2016年63回Nコンアナウンス部門優秀)

＜参加申し込みについて＞

●参加費は無料(顧問の先生方は、ミニコンテストの審査・運営をお願いします)

●前回エントリーされた各校には個別にエントリーの再確認をいたします。

●エントリーの変更などがある場合には、連絡をください。ohno@mukogawa-u.ac.jp (武庫川女子大学附属高校 大野潤まで) 締切: 3月14日(月) 必着(プログラムなどには反映できませんがこの日まで受け付けます)

＜その他注意事項＞

・今年度の1地区フェスティバルは原則1地区内の高校放送部のみが参加できます。

・当日に全体会、研修会は行いませんので、見学のみの参加は控えください。

・午前中にミニコンテストのみを実施するため、食事場所は設けません。

・アナウンスの審査終了後にお時間がある顧問の先生は、審査結果が出るまでお待ち願います。

・3月13日(日)までにエントリー番号、顧問役割分担などの詳細に参加各校にメールでお知らせします。

＜感染対策について＞

1. 参加者の健康観察を徹底するため、実施日の1週間前からの検温を参加条件とし、1週間分の検温表を当日の受付で提出。参加者本人に発熱症状がある場合、同居家族に発熱等の症状がある場合(ワクチン接種後を含む)や濃厚接触の疑いに伴うPCR検査を受けている場合は参加を不可とする。
2. 当日の朝に会場を消毒。会場の換気を徹底。受付時に検温、手指消毒の徹底。身体的距離の確保のため、席を離れて座席を使用する。フェスティバル終了後についても会場を消毒する。
3. マスク着用を徹底するため発表時についても、発表場所へ行く前に手指消毒、マスクを着用した状態での発表とし、発表後はマイクを消毒する。発表前の声出し練習についても、マスク着用での練習とし、身体的距離を確保することを徹底する。
4. 時間短縮のため、通常は座りマイク×2＋立ちマイク×1の3か所設定での発表を、座りマイク×2＋立ちマイク×2の4か所設定として対応する。
5. 登下校時にはマスクの着用を徹底する。また、終了後について、コンビニでの飲食、会話などは避け、速やかに帰宅する。
6. マスクについて、常時着用を徹底するとともに、感染防止の効果が高い不織布マスク着用を奨励する。